

英國女皇 ヴァイクトリア 陛下ノ傳

(第一)

ジョー、バーチット、スミス

原著

廣田直三郎

譯述

第一章 女皇之幼時

不列顛帝國建國以來屢皇孫ノ斷替セルニモ拘ラズ王政連亘今日ニ及ベリ而シテ此長歲月ノ間最モ有名ナルノ朝ニアリ此兩者共ニ女性ノ王位ニアルノ時ナリ思フニ古來歷史上最モ光彩アル時代ト稱セラル、モノモ決シテめでん女皇ノ隆盛時代(メーデン女王ハるる)ニ比スベキモノアラザルナリ軍武ノ名譽ニ驕ルノ羅馬、富裕佳美ヲ以テ稱セラル、ノ君坦丁堡技術ノ秀麗ヲ以テ鳴ルノ希臘アルモ能ク此等ヲ一世ニ集メテ光輝ヲ放タシメタルモノハ女皇ノ時代ナリ此時代ヤ軍旅ノ強盛ナル敵スベカラス學識ノ卓秀ナル匹スベカラス凡百ノ學藝技術亦皆通曉發達セザルハナシトれ、ふるびしや、とれ、ば、れ、べ、こ、ん、す、べ、ん、さ、い、せ、い、く、す、び、い、あ、ノ、諸、名、家、豪、傑、ノ、顯、ハ、ル、皆、此、時、ニ、ア、リ、而、シ、テ、此、諸、碩、儒、ノ、遺、言、遺、書、皆、千、載、不、磨、ノ、卓、見、ナ、リ、宜、ナ、リ、後、世、書、ヲ、學、ブ、者、皆、是、リ、さ、べ、す、女、皇、ノ、隆、盛、時、代、ノ、遺、跡、ヲ、以、テ、摸、範、ト、ス、ル、コ、ト、

然リ而シテ英國史上ニ於テ他ノ貴重ナル時代ト稱スルモノハ實ニ我親愛ナル現時在位ノ女皇陛下ノ朝也。るりさべす女皇ノ時代ニ於テハ文學ノ隆盛其極ニ達シ又勇武ノ名聲四海ニ轟クト雖ヒ我ぐいくどりあ女皇ノ時代ハ更ニ英國ヲ擴張シテ先人ノ想像ニ及バザルノ版圖トナセシハ實證ニシテ且ツ學問技藝ノ卓越人民智識ノ進歩ニ至ルマデ皆歷史上ニ其比ヲ見ザル所ナリ而シテ此等ノ文明進化ハ實ニ我女皇陛下ガ其常ニ國民ノ安寧幸福ヲ以テ中心ノ欣榮トセラル、ガ如ク深重優切ヲ以テ之ヲ導キシニ由ラズンハアラズ長ク此寬整仁美ナル政治ノ恩澤ニ浴シシヲ記慮セルモノ我國歴史中ニ特筆大書センヲ欲セザルモノナカルベシ是ヲ以テ此歲陛下ノ五十年祭ヲ舉行スルニ當リ國民皆既往將來ヲ鑑推シテ欣喜踊躍以テ此美祭ヲ完成セシムルニ至リハ亦怪ムニ足ラザルベシ

今茲ニ女皇ノ眞傳ヲ掲グルニ當リ一言セントス此眞傳ハ女皇ノ政治上ニ關スルモノヲ記述シタルニアラズシテ一身獨巳ノ私言私行ヲ摘載セルナリ何ントナレバ其政治上ニ關シテ世上既ニ其書アリ且ツ一身獨巳ノ私言私行ヲ記載スレバ其政治上ニ關スルヲ亦推察スルヲ得ベケレバナリ

凡ソ終始誠眞ニ一國々民ヲ念フノ君主ノ一憂一喜ハ以テ其國民ノ苦欣ヲ徵スル

ニ足ルモノナリ我女皇陛下成童命ヲ天ニ受ケ此大國ニ君臨セラレシヨリ美政ノ極ト稱セラル、今日ニ至ルマデ實ニ此種ノ君主タリシナリ我英國國民ノ陛下ヲ見ルコト慈母ノ如シ亦宜ナラスヤ

千八百三十七年五月十四日女皇即位ス那曼戰爭後茲ニ至ル迄實ニ六世ヲ經ヌベシ
りさべす女王六十九年(卷一)むす二世六十九年(じよーじ二世七十七年)じよーじ三世(八十二年)じよーじ四世六十八年(ういりあむ四世七十二年)是レナリ陛下ノ如ク
統制ノ長久ニ互ルモノハへんりー三世五十六年間(じよーじ三世六十年間)ノ二帝
ニシテ(じよわーじ三世)ノ朝ハ正サニ其歲數ヲ等フス(ジ)いくどりあ女皇ハ(じよ一
むす一世)ヨリ僅ニ八世ノ後ナリ(じよわーじ六世)ヨリ十四代ノ孫ニシテへんりー
一世ヨリ二十八世あるふれつ(じよ大王)ヨリ三十五世ニシテ英王ノ始祖(じよばーじ
ガ第三十七世)ノ遠孫ナリ

陛下ハ千八百十九年五月十四日ヲ以テけんしんと宮ニ生ル父ハ公爵(じよわーじ
ニシテ)母ハ(ジ)いくどりあ(の)ーりー(る)うい(じ)あ殿下ナリ殿下ハらいねんせん王子
(じよみつ)くちや(ー)るすノ實婦ニシテ王子(れ)を(ば)る(じよ)ノ妹ナリ父ヲ公爵(さ)させ(こ)ば
(ー)ぐ(さ)ー(ふ)ねる(じよ)ト云フ千八百十八年婚ヲ結ビ遂ニけん(と)公爵(ト)らい(よ)ん(せん)

家ノ定住所タルあもいばつちニ退隱ス既ニシテ孕メルアリ公爵其子ノ後來英國嫡嗣トナルヲ以テ夫人ニ説テ英ノ地ニ還リ分身セシメントス夫人之ニ從フ公爵大ニ其夫人及ビ胎兒ノ安全ヲ計リあもいばつちヨリけんまんとん宮ニ至ル陸路ヲ親カラ馬車ヲ馭御シテ返レリ實ニ千八百十九年四月初旬ナリ已ニシテ臨月ニ接ス即チ國例ニ依リ待醫ノ外更ニ博士ちやゝるつと、しゝばるとチ迎聘シテ諸事ヲ委嘱ス皇女ノ生ル、時正サニ午前四時ナリ即チ公爵さつせつくす公爵うゑりんとん大僧正かんだいふゝり候爵らんすだうんるんとん僧正及ビじよゝじかんにんぐ等ノ國務大臣及樞密議員直チニ之ヲ庶衆ニ公達セリ

雜報

●龍南會紀事

涓滴巖ヲ穿ツ。漸チ以テスレバナリ。積羽舟ヲ沈ム。和ヲ以テスレバナリ。之ヲ爲スニ漸チ以テシ之ヲ行フニ和ヲ以テス。事而シテ就ル。曩ニ我校友徒ノ團體ヲ設ケ會合ヲ設クルモノ。頗ル多ク。爾來月進月歩。蒸蒸日上。勢アリ。有志ノモノ是ニ見ルアリ。集メテ大成セシコトヲ謀ル。議今年四月ニ起リ。九月ニ至リテ熟ス。則チ職員生徒中ヨ